

消費税が国を滅ぼす

定価 ¥900+税

税制研究の第一人者が直言！ 「消費税は悪魔の仕組みだ」

●本書の主張

- ・ 個人消費を冷え込ませる消費税増税はやめるべき。
- ・ 「消費税のサプライズ減税」が日本経済を活性化させる。
- ・ 消費税減税の財源はある！
 - 大企業がまともに納税すれば**約9兆円**の増収
 - 日本の法人税制は「法律に書かれている税制」と「実際に納められている税制」のギャップが大きい。それを解消すれば増収は可能。

日本の法人税率（国税＋地方税）29.74%

ソフトバンクグループ株式会社 ⇒ 税負担率 0.003%

税引前純利益 1624 億 2200 万円 → 納税額 500 万円

新日鐵住金（現・日本製鉄） ⇒ 税負担率 1.46%

税引前純利益 1109 億 5700 万円 → 納税額 16 億 1500 万円

- ・ 企業規模が大きくなるほど実際の税負担率は下がっている。
 - 租税特別措置という「隠れ国庫補助金」
 - 株式投資の収益が課税されない欠陥税制
 - 税務当局 vs グローバル企業の課税逃れスキーム

税制を正して、日本を立て直せ！ その方法は本書にある。

<著者紹介>

富岡幸雄（とみおか・ゆきお）

1925 年生まれ。中央大学名誉教授。国税庁勤務から大学教員に転じた税制研究の第一人者。大平内閣の時代から一貫として消費税の導入に反対してきた。日本人税理士第 1 号でもある。前作『税金を払わない巨大企業』（文春新書）が大きな話題に。

お問い合わせ先：文藝春秋プロモーション部（電話 03-3288-6142）
pr@bunshun.co.jp